



◆其の六十六

般若寺

西鉄二日市駅の東口を出ると目の前に小高い丘がそびえており、この付近には「般若寺(はんにゃじ)」という地名が残っています。隣接する太宰府市側では奈良時代のお寺の遺跡が見つかっており、古代寺院があったことが地名の由来と考えられます。

古い記録では「般若寺」は白雉5(654)年に筑紫大宰帥(つきのだいさいのそち)、蘇我日向(そがのひむか)により建てられたとされていますが、それがどこにあったものなのかは分かっていま



「般若寺」の地名が残る丘

せん。

日向は「大化の改新」の立役者の一人で右大臣となった蘇我倉山田石川麻呂(そがのくらのやまだのいしかわまる)の弟ですが、中大兄皇子に偽りの告げ口をして兄を妻子ともども滅ぼしてしまいます。

やがて石川麻呂の無実が気付いた皇子が筑紫に左遷したといわれるこの日向こそが、「武蔵寺」建立者として「武蔵寺縁起絵図(県指定文化財)」に描かれている藤原虎麿(虎麿長者)のモデルだと言われているのです。

非業の最後を遂げた石川麻呂も、大化の改新では叔父である蘇我蝦夷(えみし)を排除しています。あるいは日向も兄を除き、権力を望んだのかもしれない。

いずれにしても、大化の改新がなければ、日向が筑紫に来ることもなく、虎麿長者の伝説も生まれなかったかもしれないのです。歴史の綾なす不思議さを感じずにはいられません。

問 文化財課

広告の掲載は、株式会社キョウエイアドインターナショナル福岡支社 ☎(722)5511 に問い合わせください。



筑紫野市フェイスブック
<https://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター
<https://twitter.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市LINE公式アカウント
<https://lin.ee/6X9wMoy>